

『体験学習の手引き』編集の 趣旨について

会津若松市は、若松城（鶴ヶ城）を中心に城下町として発展してきた街ではありますが、東北一といわれる古墳の存在からも分かるように、昔から会津の中心地として重要な役割を果たしてまいりました。したがって、芸能・産業・行事などのさまざまな文化が生活の中で培われてまいりました。科学・技術が進歩した現在にありましても、昔からの行事や習慣などが伝統産業と共に私たちの生活の中に脈々と、しかも、しっかりと根づいており、生活にうるおいを与えてくれています。

このように、長い間生活の中で守られ続けてきたものを改めて見直してみることは、現在の生活を見つめるうえで、さらに会津の心を知るうえで意義のあることだと思います。

この小冊子は、このような会津若松市の伝統産業や文化遺産等について学び、又皆さんが直接体験を通して広く見聞し、学習をすすめていくための一助となる基礎資料として編集したものです。

一つ一つの内容は極めて概略的ではありますが、皆さんが実際に足で歩いて実地で体験されたものと突き合わせながら、学習をより確かなものにするために役立てていただければ幸いです。

会津若松市教育委員会教育長

高石寛治